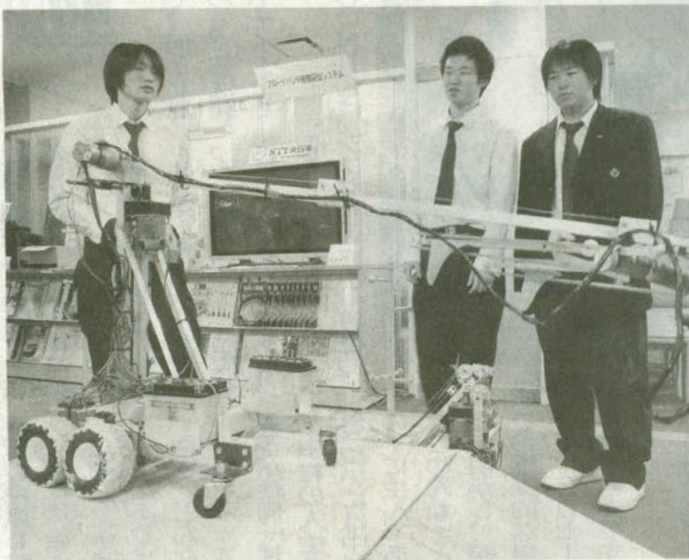


# ものづくり 最新技術紹介

全国大会に出場したロボットを操作する二本松工高  
機械システム科の生徒



「ふくしま産業交流フェア」開幕

## ロボット実演や事業紹介

県北の40機関出展

福島市をはじめとする県北地区のものづくり最新技術を紹介する「ふくしま産業交流フェア2007」が二十三日、同市のコラッセふくしまで開幕し、企業や大学、高校の研究成果を見る来場者でにぎわっている。二十四日まで。福島市、ふくしま新産業創業推進協議会の主催、福島商議所、福島大の共催。

フェアは、ビジネスチャ、高専、工業系の高校など四ونسを生み出す機会をつく、十機関が出展した。ろうと毎年開催している。三階では、化学薬品やパ今年は企業や福島大、福島イオ技術、コンピューター

ラジコン気球のデモンストレーションをする福島工高電気科の生徒



「倒立二輪型ロボット」を紹介する福島大共生システム理工学類の担当者



出展企業の説明に聞き入る人でにぎわう企業ブース

のソフトなど二十五企業がブースを設け、来場者に事業の特長を紹介。福島大共生システム理工学類の福祉保健医療技術プロジェクトの展示も行っており、将来は重い物を持ちたり、ごみを拾ったりできるようになる開発中の「倒立二輪型ロボット」モデルなどが並んでいる。

二階には同市に工場を構える大手メーカーの展示や、県北地域の名産品コーナーも設けた。このほか、一、二階階では福島工高電気科と、二本松工高機械システム科の生徒が作製したロボットの実演も行われ、訪れた市民や企業関係者が楽しそうに見入っている。

二十四日は各展示に加え、元旋盤工で作家の小関智弘さんの特別講演や、ロボット工作体験入門、文鎮づくり教室などを開く。